

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】沖縄古典芸能と学校教育		
担当講師名	狩俣 恵一		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成29年8月6日	振替日	平成29年8月13日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭		
履修認定時期	平成29年9月10日		
講習形態	一般講義		
講習内容	<p>琉球・沖縄の芸能の歴史を概観し、琉球王国時代の王府芸能の継承について解説する。そして、王府芸能の近代化以降の継承の視点を中心に、王府芸能が古典芸能として生まれ変わったことについて考える。尚、本講座では、琉球の古典芸能教育について、「歌詞・唱え」の解説に加え、「音楽と所作」「衣裳と舞台環境」を総合的に考えて講義を進めるため、沖縄古典舞踊・組踊の実演と解説を行う。よって、伝統組踊保存会の伝承者をゲストスピーカーとして、講義を進める。 ※受講希望者が5人未満の場合は閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	琉球語と沖縄古典芸能の言葉		
10:20～11:20	琉球の王府芸能—御冠船踊りと江戸上りの芸能—		
11:30～12:30	沖縄古典舞踊の実演と解説		
12:30～13:20	昼食・休憩		
13:20～14:10	組踊の実演と解説		
14:20～15:20	王府芸能から民間芸能へ—沖縄古典芸能の成立—		
15:30～16:20	学校教育と沖縄芸能の現在		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点、受講態度、講義内容の習得度		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】英語音声実践トレーニング		
担当講師名	李 イニッド		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成29年8月7日	振替日	平成29年8月8日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	(選択してください)		
主な受講対象者	小学校教諭、中学校・高等学校英語科教諭		
履修認定時期	平成29年9月4日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>最近国内の英語教育においては、「話す、聞く」の学習に重点を置き、音声による実践的なコミュニケーション能力の育成が重要視されるようになってきた。本講座は国際音声記号などを使って確実に英語の発音を矯正する方法を紹介し、英語指導能力及びコミュニケーション能力の向上を目指す。日本人にとって特に難しいポイントを焦点にあてて英語音声を基礎からしっかり学び、正しい発音、イントネーション、リズム感を修得する。</p> <p>※CALL教室を使用のため、最低限のPCスキルは必要である。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション(出欠確認)		
9:10～10:10	第1講 セルフアセスメント・子音		
10:20～11:20	第2講 母音		
11:30～12:30	第3講 音節・アクセント・リズム		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 リエゾン・脱落		
14:30～15:30	第5講 句切り・イントネーション・学習ツールの紹介		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	口頭試験		
評価基準	口頭試験の得点及び講習時の参加態度		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】フィールドで学ぶ沖縄の郷土文学		
担当講師名	西岡 敏		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成29年8月7日	振替日	平成29年8月26日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	琉球文化に関心のあるすべての学校教諭		
履修認定時期	平成29年8月14日		
講習形態	一般講義		
講習内容	<p>沖縄には、「おもろさうし」「琉歌」「組踊」など、琉球固有の言語によって育まれた伝統的な琉球文学があり、その次世代への継承が課題となっています。また、「琉球固有の言語＝しまくとぅば」は、消滅の危機にありますが、再生への動きも活発化しています。本講習では、沖縄国際大学周辺の琉球文学にゆかりのある地域を巡りつつ、沖縄の郷土文学や「しまくとぅば」について考えます(入場料等の実費が必要となる場合あり)。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:30	オリエンテーション(出欠確認・自己紹介・全体説明ほか)		
9:30～10:30	第1講 しまくとぅば概説(沖縄中南部方言を中心に)		
10:40～12:10	第2講 琉球文学概説(現地見学の作品を中心に)		
12:10～13:00	昼休み		
13:00～14:40	第3講 フィールド巡見(バスによる現地見学)		
14:40～16:10	第4講 ビデオ鑑賞と解説(現地見学したフィールドが舞台の琉球芸能を中心に)		
16:20～16:50	自習		
17:00～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケートの回答および回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	試験の点数および受講態度		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】英語の授業が楽しくなるビジュアル・オーディオ活用講座		
担当講師名	上原 千登勢		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成29年8月8日	振替日	平成29年8月9日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭、中学校・高等学校英語教諭		
履修認定時期	平成29年9月11日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>本講座は、ビジュアル・オーディオを活用し、英語の授業をより楽しく有意義なものにすることを目指します。午前中は、担当講師の取り組みや、実際使用したインターネットサイトや動画、洋楽を紹介します。午後は様々な年齢・レベルの英語学習者を対象としたアクティビティをアクティブラーニングと連動させ、受講者自身の現場に沿った展開を考えて頂きます。グループワーク、ペアワークを多く行うので他の受講者から学び、自らも講座に積極的に参加・貢献することを期待します。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション・出席確認		
9:10～10:10	第1講:ビジュアル・オーディオ活用の意義と効果		
10:20～11:20	第2講:ビジュアル・オーディオ紹介と活用方法 ①		
11:30～12:30	第3講:ビジュアル・オーディオ紹介と活用方法 ②		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講:アクティブラーニングとの連動		
14:30～15:00	第5講:まとめ・振り返り		
15:00～16:30	試験		
16:30～16:40	事後アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験得点、講座参加の積極性・貢献度		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】マインクラフトとスクラッチで楽しく作るプログラミング入門		
担当講師名	小渡悟		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成29年8月8日	振替日	平成29年8月15日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学生・中学生のプログラミング教育, IT教育に関心のある教員		
履修認定時期	平成29年8月18日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>一般の生徒らがマインクラフト(ものづくりゲーム)での遊びを通してプログラムの基本処理(順次・反復・分岐)を学べる方法を講習する。</p> <p>本講習ではRaspberry Pi版Minecraft(マインクラフト)とScratch(スクラッチ)を用い, Scratchからのプログラム指令を通してゲーム内の世界を探索やブロックで新たな世界の構築を行う。これらの遊びを通してプログラムの作成方法, プログラムの基本処理を修得することを目指す。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00~9:10	オリエンテーション		
9:10~10:10	スクラッチの超簡単入門(基本操作)		
10:20~11:20	ねこを歩かせてみよう(基本処理:順次処理, 反復処理)		
11:30~12:30	マインクラフトを使ってみよう(基本操作)		
12:30~13:20	お昼休憩		
13:20~14:20	仮想世界(ワールド)をプログラムで自動生成(1)		
14:30~15:30	仮想世界(ワールド)をプログラムで自動生成(2)		
15:30~16:30	自分だけの仮想世界(ワールド)を作る(課題作成)		
16:30~17:30	成果発表		
17:30~17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	実技考査		
評価基準	作成した課題と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】ARプログラミング入門 - Processingで作る拡張現実の世界 -		
担当講師名	小渡悟		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成29年8月9日	振替日	平成29年8月16日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学生・中学生のプログラミング教育, IT教育に関心のある教員		
履修認定時期	平成29年8月18日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>Processingはプログラミング言語と開発環境をあわせた便利なツールです。簡単な記述でプログラミングが行え、特にグラフィックが簡単に描けることからプログラミング入門者の学習、メディアアーティストによるメディアアートの作成など、幅広く利用されています。本演習では現実に情報を重ねるAR(拡張現実)を実現するための手法を学びます。本講習を受講することで科目にあわせた綺麗なビジュアルの教材作成が可能となります。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00~9:10	オリエンテーション		
9:10~10:10	基本操作		
10:20~11:20	アニメーションと2D・3Dグラフィック		
11:30~12:30	ライブラリの活用		
12:30~13:20	お昼休憩		
13:20~14:20	AR(拡張現実)の表現		
14:30~15:30	CGを用いた作品作成 1(課題作成)		
15:30~16:30	CGを用いた作品作成 2(課題作成)		
16:30~17:30	成果発表		
17:30~17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	実技考査		
評価基準	作成した課題と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】フィールドで学ぶ沖縄の地理空間		
担当講師名	崎浜 靖		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成29年8月9日	振替日	平成29年8月16日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭、中学校の社会科教諭、高等学校の地理歴史科教諭		
履修認定時期	平成29年9月8日		
講習形態	その他		
講習内容	<p>社会科・地理教育における課題の一つとして、生徒が実際の地理的空間に展開されている事象と、教科書や地図帳に記載されている事象とを関連させて、「思考」を深めることができないことが挙げられる。それを克服する方法として、地理教育では古くから野外学習(巡検)を実施してきた。本講習では、学校現場で応用できるように、地形図・空中写真・歴史資料などを用いながら、上記の課題を検討したい。</p> <p>※午後からは、宜野湾市内のバス巡検を実施する。</p> <p>※受講希望者が5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～11:00	地図の見方と利用方法		
11:00～12:00	沖縄本島の歴史地理		
12:00～13:00	お昼 休憩		
13:00～13:20	沖縄国際大学5号館屋上から普天間基地を見学		
13:20～15:30	宜野湾市の地理空間(巡検)		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】教育裁判例を読む		
担当講師名	安原 陽平		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成29年8月11日	振替日	平成29年8月25日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	教諭		
履修認定時期	平成29年9月11日		
講習形態	一般講義		
講習内容	<p>本講義の目的は、教育裁判例を読むことを通して、よりよい教育環境のために必要なことは何かを考察することです。学校内外で生じるトラブルや紛争に関する主要な教育裁判例を検討し、どの点にいかなる責任があるとされたかを各ケースごとに確認します。もちろん、法的な責任と教育上の責任は完全には一致しません。そのため、法的な責任を知ることが、教育上の責任を知ることになるとは言えませんが、しかし、法的な責任を知ることによって、よりよい教育環境のために果たすべき教育上の責任とは何かを考えることは可能と言えます。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	第1講 学校事故をめぐる教育裁判例を読む		
10:20～11:20	第2講 学校災害をめぐる教育裁判例を読む		
11:30～12:30	第3講 教職員の処分をめぐる教育裁判例を読む		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 情報公開に関する教育裁判例を読む		
14:30～15:30	第5講 その他の主要な教育裁判例を読む		
15:30～16:30	進度調整・自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の内容、授業中の発言等を総合的に評価		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】フィールドで学ぶ沖縄の歴史と文化		
担当講師名	宮城弘樹		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	平成29年8月26日	振替日	平成29年9月30日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	琉球の歴史・文化に関心のある小学校・中学校・高等学校教諭		
履修認定時期	平成29年9月26日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>今帰仁グスクとその周辺を歩いて学習します。歴史遺産だけでなく、伝統文化、自然、観光産業など地域には学習素材が綺羅星のごとく瞬いています。実際に歩き、歴史を体感することで、学習を再構築することを目的とする。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～11:10	移動車中にて、歴史学習		
11:10～12:10	今帰仁城跡見学		
12:10～13:10	お昼休憩		
13:10～13:40	歴史文化センター見学		
13:40～14:30	今帰仁城跡周辺文化財		
14:30～14:40	休憩		
14:40～15:30	今泊集落散策		
15:30～16:00	移動車中にて、自習時間		
16:00～17:00	移動車中にて、試験		
17:00～17:30	移動車中にて、事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	平常点50%、試験50%		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	